

2021 年度特定研究奨励金 報告書

報告者所属・氏名

所属	生活科学部現代生活学科	氏名	須賀由紀子
----	-------------	----	-------

奨励金による研究活動・実績（具体的に記載）

2021 年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大状況は改善せず、プログラムの実施計画を立てることができず、予定していた内容を修正しながら、研究をすすめた。大学生には、地域価値共有プログラムとして ICT 活用のまちあるきの基本的な組み立て部分に参加してもらい、これまでに実績を積んで信頼関係のある日野市をフィールドに基礎調査を重ね、プログラムの設計と効果検証を行うことにした。結果的に、第 5 波後の比較的状况のよい時に、密にならない形でのプログラム実験を複数回日野市の協力者を得て行った。具体的には、「地域への愛着をどう育てるか」というテーマで、①対面参加型（現地参加型） ②オンライン参加型（現地に行かなくても参加できる形） ③web-AR 利用型（解説者がいなくてもまちの魅力に触れられる情報提供の仕組み。個人や少人数のグループで参加可能）の 3 つの形で、ICT 活用のまちあるきプログラムを設計した。そして、参加形態の違いによる地域愛着意識の観点から、地域への関わり方に及ぼす効果検証を行った。その結果、参加形態の違いに関わらず、本プログラムの地域愛着形成への関与が認められた。また、関係人口創出に関わる要素として、地域の人との何らかの接触、地域のルーツに触れること、地域の人による解説があることの 3 点が抽出され、地域文脈を意識したルート設計の重要性が示唆された。